

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科医師会

会 長 渡 邊 正 臣

平成27年度愛知県歯科医学大会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、ラグビー W 杯で日本代表が活躍するうれしいニュースがありました。ラグビーが注目され、競技人口が増えれば、我々歯科界においてもスポーツデンティストが活躍する場が増えることになり、大変喜ばしいことと思います。

さて、愛知県歯科医学大会は、中部地区最大のイベントであり、愛知県内外の歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士ならびに、その関係者が一堂に会して現代歯科医学の進歩・発展を図るとともに、広く地域住民のために寄与せんとする学術大会であります。

今年度は『健康長寿社会を支える歯科医療 ～健口で食べる楽しみ、いつまでも～』をメインテーマに、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて二日間に亘り盛大に開催されます。特別講演では、東京歯科大学名誉教授 下野正基先生に「治療の病理～臨床の疑問に基礎が答える～」と題し、歯科医師と歯科衛生士の日常臨床業務で最も多く関わりをもつ、特殊な組織である歯肉についてわかりやすく解説して頂き、臨床での多くの疑問についても解決して頂きます。普段の診療に対しての基礎の裏付けをもって、更なる自信をつけ日々の診療に邁進して頂きたいと考えております。

第2ファッション展示場で行われます企画講演では、豊橋市で豊橋キッズデンタルクリニックを開業されております中野崇先生をお招きいたしました。「もう一度見直そう！小児歯科学」と題し、我々が普段、小児の歯科治療で忘れてしまっているものを、昔使った教科書の内容をもう一度紐解き、基礎から小児歯科を見つめなおす良い機会になると思います。両講演会とも、歯科医師の先生方のみならず、コデンタルスタッフの皆様にも日々の診療にお役に立てただけの講演となることと確信しております。

また例年同様に(一社)愛知県歯科技工士会ならびに(公社)愛知県歯科衛生士会の企画講演をはじめ、企業企画講演、各団体のワークショップ、デンタルファミリー余技総合展、等々充実した内容になっております。その他にも地域レベルでは名実ともに全国一といえます「第39回中部日本デンタルショー」も同時に開催され本大会に華を添えていただきます。

最近では、スポーツデンティストの育成、患者さんの滅菌に対する高まる意識、急速に進む高齢化による基礎疾患の増加など、口腔内の治療以外のことも多く求められるようになりました。

歯科医師会のブースでは、地域保健部Ⅰによる、スポーツ歯科・骨粗しょう症コーナー、地域保健部Ⅲによる、ポスター展示、学術部による、滅菌・外来環コーナー、防災対策部による、ポスター展示、各企業協賛による、AED体験コーナー、CAD/CAM接着コーナーなど、これからの時代に必要とされるものを厳選し、展示、体験できるブースとなっております。是非、この歯科医学大会でさらなる知識、技術の研鑽を積んで頂き、地域のかかりつけ歯科医として地域医療の重要な一役を担っていただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営等にご尽力賜りました関係各位のご努力に対し、心より御礼申し上げますとともに、今後とも絶大なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科技工士会

会 長 鈴 木 永 吉

この度、歯科医学大会、中部日本デンタルショーが盛大に開催されるにあたりまして私共(一社)愛知県歯科技工士会も共に参加出来ます事、大変喜ばしく思っております。今大会開催にあたり(一社)愛知県歯科医師会、(社)愛知県衛生士会、東海歯科用品商協同組合をはじめ関係諸団体のご苦労は並々ならぬものと敬意を表し、重ねて深く感謝いたします。

私共、歯科技工業界も CAD / CAM をはじめとする IT 化等における変化は、ここ数年来目まぐるしいものが有ります。しかし、これ等の変化と相反し依然経済的問題、技工士の減少問題等問題山積で有ります。特に、技工士減少問題に於いては県内の技工士学校(3校)の昨年の入学者が50数名との事、今春の入学者に於いてもかなり少ないものと思われまます。私共の歯科技工士は患者様に安心、安全でより良き補綴物を提供する事を本分としており、社会に於いてかなり近い位置での社会貢献の出来る素晴らしい職業と誇りに思っております。この減少問題については急務であり歯科界全体で考えて行かなければ思っております。

この様な状況の中でも、私共歯科技工士が不変的にやって行かなければならない事が、技術の研鑽であり、研究で有ります。技工士会も毎年技工学会、各種セミナーと様々な企画をし、多くの方々が勉強に励んでおります。

今大会も、技術の習得、研究発表におきましては絶好の機会と思っております多くのの方々の参加を期待しております。

今回、企画講演では I.D.T デンタルラボラトリーの岩城謙二先生(東京都技)に『下顎義歯の吸着を可能とする総義歯臨床術式の要点』のタイトルで講演して頂きます。先生は「BPS 世界コンテスト」に於いて世界第1位を受賞し各地での講演も多く、若手で新進気鋭の先生で多くの方の聴講が期待されます。

また、テーブルクリニックにおきましては、当会主催の ADTA トレセンの第1期卒業生で有ります先生方に発表して頂きます。『オールセラミッククラウン、インレーの製作要点』を池田龍平先生、『ジルコニアクラウンの製作要点』を久保田紘平先生に、また併せてポスター発表では『歯型彫刻の要点』を高山伸樹先生、『メタルボンドクラウンの製作要点』を松橋雅隆先生に発表して頂きます。

今回の企画に於いては全て若い歯科技工士の方々ばかりです、業界が様々な問題を抱える中、若い多くの歯科技工士が勉強に励む姿を見るにつけ、私共先輩として改めて気を引き締め、どの様な難問題においても“肝胆を砕く”の精神で対処して行かなければならないと感じさせられております。

最後に、今大会が全てに於いて実り多き大会に成ります事を願ってご挨拶とさせていただきます。

開催のご挨拶



(社)愛知県歯科衛生士会

会長 長 縄 弥 生

歯科医学大会、第39回中部デンタルショーが今年も変わらず盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。開催にあたりご尽力くださいました関係諸団体の皆様に感謝申し上げます。

また平素より本会活動におきましてご理解ご支援をたまわり、誠にありがとうございます。

歯科医学大会、中部デンタルショーでは、毎回そのときどきの歯科疾患に関する考えや治療方法や経済状況が企画や展示方法に強く影響されると思います。ここ数年の企画内容の推移をみても、「歯科界の時代」というものを感じています。

近年、わたしども歯科衛生士に求められる業務内容が大きくかわりました。高齢者を地域で支えていくための仕組み作りが進められる中、「口から食べる」という、人が生きていくための重要な生活の質の部分について他職種より強く支援することが求められています。

そこで他職種と共同していく上で必要となることが理論的思考です。長年、歯科衛生士教育では技術(手技)的なことが優先され、患者の問題点を演繹的に考えることを深く学んできておりません。この思考の未熟は、視覚・聴覚的に入った主観的情報のみ一辺的な指導となり、客観性が欠落した歯科衛生指導にもつながると考えます。

今年の本会企画公演では「歯科衛生ケアプロセス」の著者でもある宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 佐藤陽子先生をお迎えします。歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程)とは、歯科衛生士によって行われる計画的で論理的な行動で、対象者の状態や影響を与えている因子を明らかにし、対処するために一連的に行う、科学的な歯科衛生ケアを実践するツールのことです。本会でも約8年前より本内容の研修会を開催し、毎年、多くの会員が受講しています。終業年限3年に完全移行されてから7年が経過し、ほとんどの学生は歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程)を学んでいます。

深い内容の割には、本会の企画講演は非常に短い時間での講演とはなりますが、養成機関でこれを学ぶ機会のなかった歯科衛生士が、今後「歯科衛生士ケアプロセス(歯科衛生過程)」を学ぶ、初めのきっかけにつながれば幸いです。

より多くの歯科衛生士から科学的な根拠に基づく歯科衛生ケアが実践されれば、対象者(患者)にはさらに良い歯科医療の提供になると信じています。

ご 挨拶



東海歯科用品商協同組合理事長
中部日本デンタルショー実行委員長

渡 邊 禮 巳

第39回中部日本デンタルショー開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

日頃、私共東海歯科用品商協同組合組合員との格別のお取引お付き合いを賜り、厚く御礼申し上げます。

「中部日本デンタルショー」も第39回目となりました。毎回試行錯誤の繰り返しですが、より見やすく、より楽しく開催できるように頑張る所存です。

今回も「愛知県歯科医学大会」との併設となり、講演会場は3か所です。会場受付（第1ファッション展示場）すぐの講演会場では、「CAD/CAM冠の接着について（各社1回）」および「AEDの使用方法について」の講習が行われます。

このほか、大変人気の高い抽選会も、魅力ある景品を多数揃えまして皆様のご来場をお待ち申し上げます。

ご来場の際には、事前配付の「登録票」（抽選券）を是非ご持参下さいますようお願い申し上げます。

「健康寿命の延伸」が「健口寿命の延伸」から始まりますように、そしてそれが地域の皆様により深く理解されますように、望んでいます。

今回のデンタルショーでは、参加予定企業は180社以上、入場者数は約1万人を見込んでおります。

私共東海歯科用品商協同組合は、地域歯科医療の発展と安定を願い、歯科器材の安定供給と情報の伝達を、対面と手渡しでの実施が重要と心掛けて活動して参ります。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、デンタルショー開催までご指導とご協力を賜りました(-社)愛知県歯科医師会、(-社)愛知県歯科技工士会、(公)愛知県歯科衛生士会各位、ならびに出展企業およびご支援を頂いたすべての関係各位に厚く御礼申し上げます。